



追加型投信 / 海外 / 債券

三菱UFJ インド債券オープン(毎月決算型)【愛称:インドの宝】 インド債券の注目ポイント

ファンド情報提供資料 / データ基準日: 2017年7月18日

平素は「三菱UFJ インド債券オープン(毎月決算型)【愛称:インドの宝】」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。本資料ではインド債券の注目ポイントを中心に足下の投資環境、今後の見通しなどをご説明致します。今後も引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※本レポートの今後の見通し・運用方針についてはアムンディ・シンガポール・リミテッドのコメントを基に三菱UFJ国際投信が作成しております。

足下の投資環境

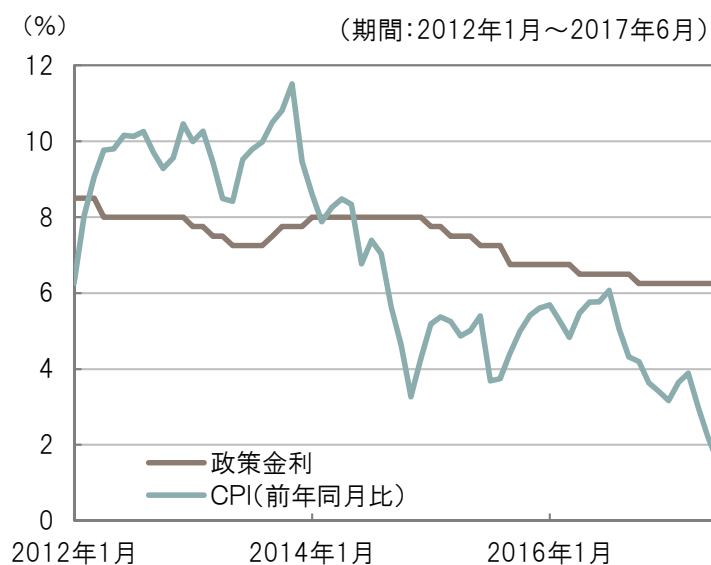
2017年6月7日の政策会合で、RBI(インド準備銀行)は政策金利を据え置きつつ物価見通しを下方修正しました。声明では、4月のCPI(消費者物価指数)の低下(3月: +3.9%→4月: 3.0%、前年同月比)を受けて、物価見通しを修正せざるを得なくなったことを示唆しました。RBIは、足下の物価は一部の農産物の過剰供給や高額紙幣廃止などの影響を受けていると指摘しました。また、物価が低下し始めてから日が浅いと述べ、物価の基調が下方シフトしたのか判断するのは時期尚早との考えを示しました。

しかしその後、5月および6月のCPIが予想以上に低下(4月: 3.0%→5月: 2.2%→6月: 1.5%、同)したことから、RBIは次回8月2日の政策会合で現状6.25%の政策金利を6%に引き下げる可能性が高まってきたと思われる。

インド政府は、2016年11月8日に高額紙幣2種類を廃止すると公表しました。汚職や脱税の温床となってきた闇資金の根絶が目的とみられます。突然の措置に伴う現金不足からインド経済は一時影響を受けましたが、流通現金残高は増加し、高額紙幣廃止の影響は終息しつつあります。

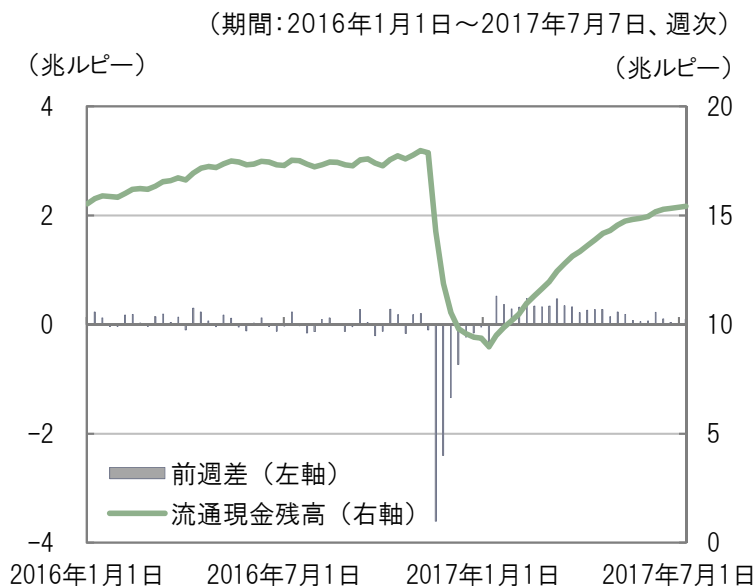
2017年3月に結果が公表されたインドの主要州(ウッタル・プラデシュ州)の議会選挙は、モディ首相の高額紙幣廃止を含むこれまでの政策に対する評価的な位置付けとして注目されていました。本選挙では、モディ首相の所属政党であるインド人民党が勝利し、モディ首相が推進する構造改革の進展期待などから、その後のインドルピーは対円、対米ドルで堅調な推移となっています(4頁下段をご参照ください)。

政策金利、CPI(消費者物価指数)の推移



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

流通現金残高の推移



(出所) RBIのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は過去の実績・状況、作成時点での見通しまたは分析です。これらは、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

三菱UFJ インド債券オープン(毎月決算型) 【愛称:インドの宝】

インド債券 3つの注目ポイント

- 1 インド経済は高成長が続く見通し
- 2 相対的に高い利回り
- 3 相対的に安定して推移しているインドルピー

1 インド経済は高成長が続く見通し

インド経済は足下で堅調に推移しています。IMF(国際通貨基金)によると、インドの実質GDP成長率は2017年以降も7%を超えることが見込まれています。今後は新興国・地域の平均成長率はもちろん、中国を上回って推移すると予想されています。

生産年齢人口(15~64歳)の見通しをインドと中国で比較してみると、今後中国は減少していくと予想されていますが、インドの生産年齢人口は今後も増加し、2020年代後半頃には中国を上回るとみられています。

働き手であり、消費の主な担い手でもある世代の生産年齢人口が、引き続き増加することが見込まれるインドは、中長期的な経済成長が期待されています。

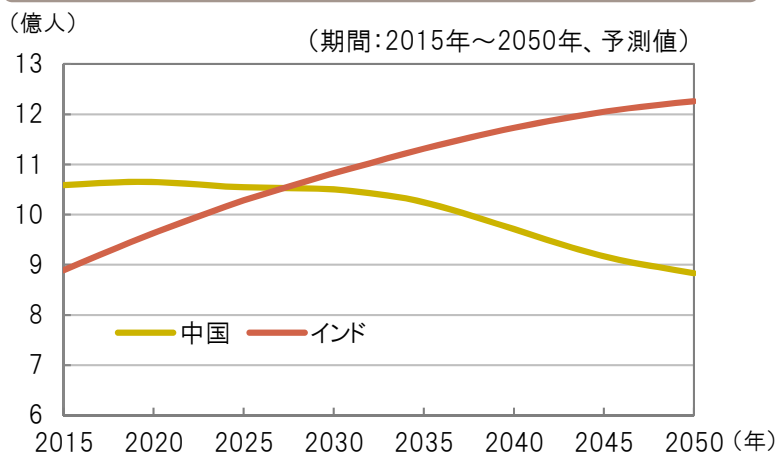
実質GDP成長率見通し

(%)	(期間:2016年~2021年)					
	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
世界	3.1	3.5	3.6	3.7	3.7	3.7
先進国・地域	1.7	2.0	2.0	1.9	1.7	1.7
米国	1.6	2.3	2.5	2.1	1.8	1.7
ユーロ圏	1.7	1.7	1.6	1.6	1.5	1.5
日本	1.0	1.2	0.6	0.8	0.2	0.7
豪州	2.5	3.1	3.0	2.9	2.8	2.8
新興国・地域	4.1	4.5	4.8	4.9	4.9	5.0
インド	6.8	7.2	7.7	7.8	7.9	8.1
中国	6.7	6.6	6.2	6.0	5.9	5.8
ブラジル	-3.6	0.2	1.7	2.0	2.0	2.0
ロシア	-0.2	1.4	1.4	1.5	1.5	1.5

・2016年は実績値、2017年以降はIMFの予測値

(出所)IMF World Economic Outlook Database, April 2017のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

生産年齢人口の見通し



(出所)国連(World Population Prospects, The 2015 Revision)のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■上記は、作成時点での見通しまたは分析です。これらは、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

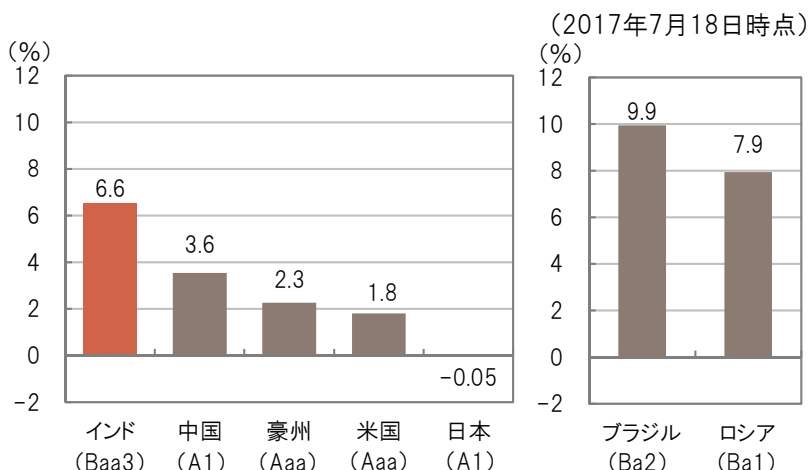
三菱UFJ インド債券オープン(毎月決算型) 【愛称:インドの宝】

2 相対的に高い利回り

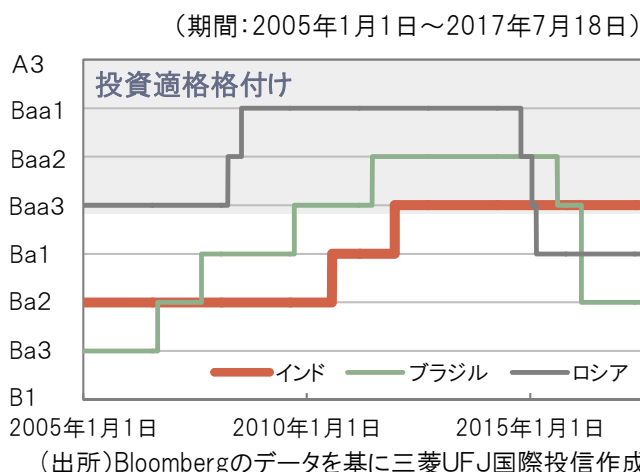
インドの自国通貨建5年国債利回りは、投資適格未満の格付けのブラジルやロシアと比較すると低いものの、投資適格格付けにある中国や先進国と比較して相対的に高い水準にあります。

ロシアとブラジルの信用格付けは資源価格の下落や景気後退などから投資適格未満に格下げされました。一方で、インドの信用格付けは過去約5年において投資適格格付けを維持しており、安定的であることがわかります。

各国の自国通貨建5年国債利回りの比較



主要新興国の格付け推移



格付けはMoody's(ムーディーズ・インベスターズ・サービス)の国債の自国通貨建長期信用格付けです。なお、上記はMoody'sの信用格付けであり、他の信用格付会社の信用格付けは上記と異なる場合があります。今後、各国の政治経済環境により格付けは変更されることがあります。

上記は為替やその他の特性を考慮しておらず、利回りだけで単純に比較できるものではありません。

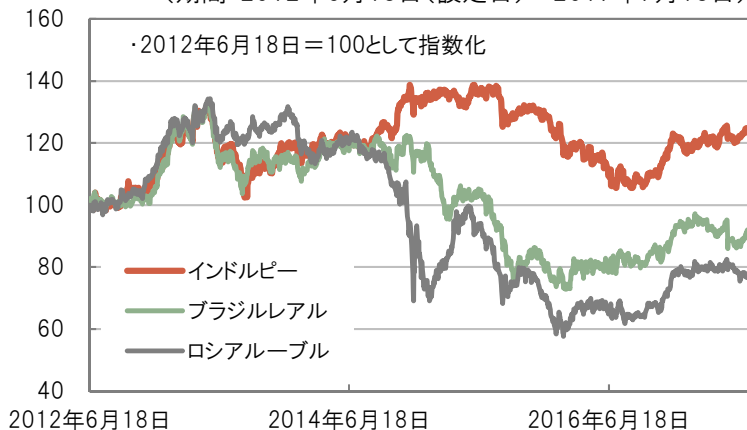
3 相対的に安定して推移しているインドルピー

資源価格の下落等を背景に主要新興国通貨が軟調に推移する中でも、インドルピーは非資源国通貨であるため、相対的に安定して推移しています。

2014年5月にモディ首相が就任後、「モディノミクス」と呼ばれる経済政策を掲げ、構造改革の進展が期待されています。また、順調に積み上がる外貨準備高(対外的な支払い能力の目安とされています)によって、外的な経済ショックに対する耐性も強くなっていることが、通貨の安定に寄与している一因といえます。

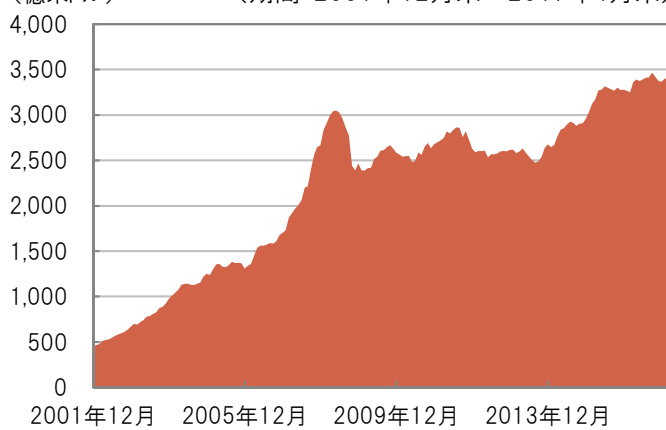
新興国通貨の推移(対円)

(期間:2012年6月18日(設定日)~2017年7月18日)



インドの外貨準備高の推移

(億米ドル) (期間:2001年12月末~2017年4月末)



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は過去の実績・状況、作成時点での見通しまたは分析です。これらは、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
■ 計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

三菱UFJ インド債券オープン(毎月決算型) 【愛称:インドの宝】

今後の見通し・運用方針

【今後の見通し】

インド債券市場では、2017年7月1日から導入された全国統一のGST(財サービス税)などの影響を見極めるまでRBIが現状の政策金利水準を維持する可能性もある一方で、食料品価格への影響が大きいモンスーン期の降雨量に対する懸念が今年度では小さいことや、GSTの導入が中長期的には国内企業の生産性向上(生産コストの低下)を促すと期待されることなどから、物価上昇率が低位で抑制され、インド債券市況にプラスに寄与すると考えます。

為替市場では、経常収支が安定していること、主要輸入品目である原油の価格が落ち着いていること、インドの構造改革期待や高い金利水準等を背景にインド債券市場に対する資金流入が継続すると見込まれることなどから、インドルピーは対米ドルや対円で底堅く推移すると考えます。

【今後の運用方針】

引き続き、インドルピー建て債券の組入れを高めとし、債券種類別では国債のほか、財務基盤が優良だと考える政府機関債等や事業債も組み入れて運用する方針です。また、デュレーション(金利感応度)については長期化することを検討します。

※上記は、作成時点における市場環境もしくは運用方針等について記載したものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

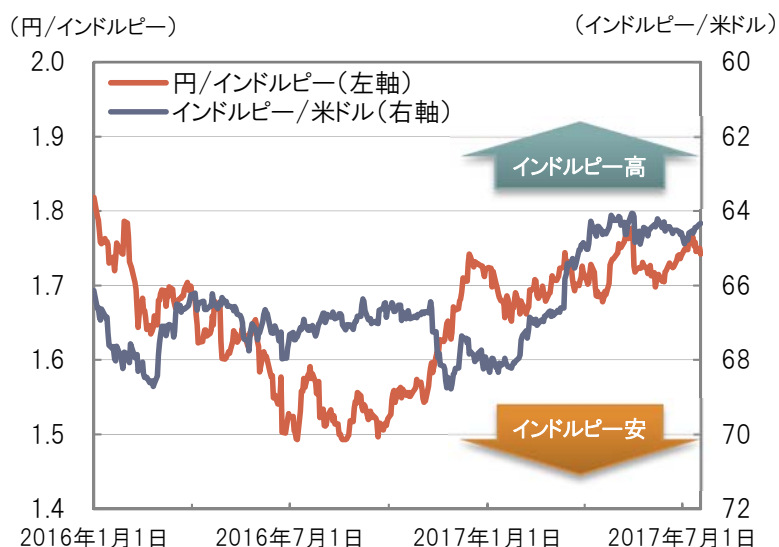
(ご参考)2016年以降の自国通貨建
インド5年国債の利回り推移

(期間:2016年1月1日~2017年7月18日)



(ご参考)2016年以降のインドルピーの推移
(対円、対米ドル)

(期間:2016年1月1日~2017年7月18日)

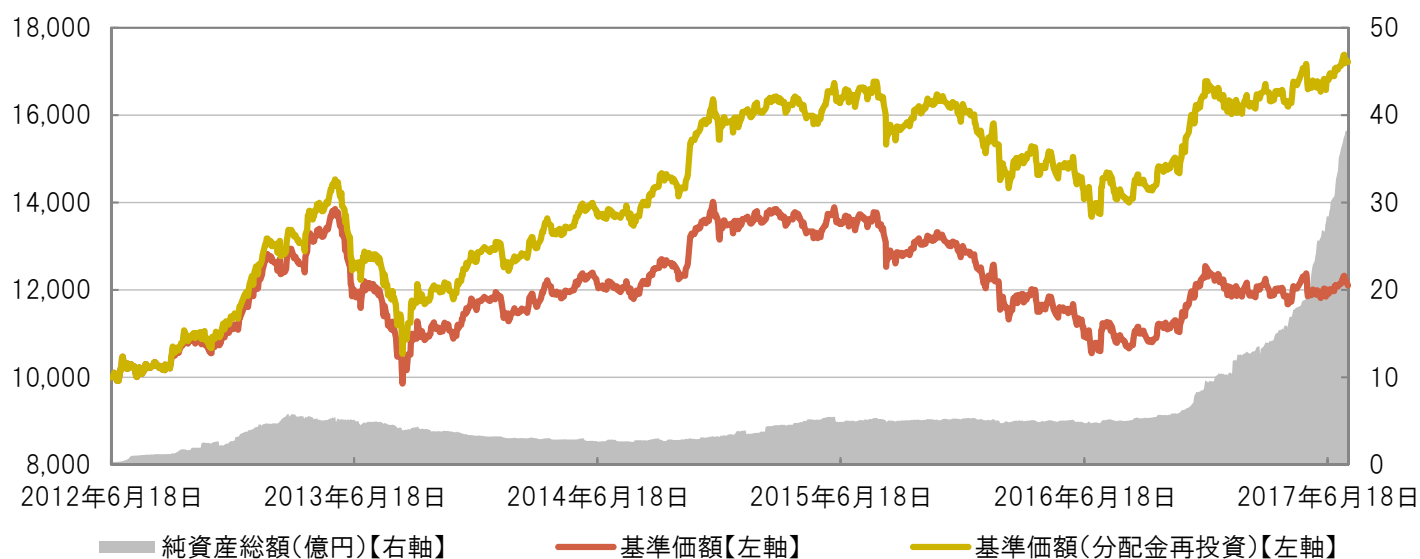


(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■上記は過去の実績・状況、作成時点での見通しまたは分析です。これらは、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

三菱UFJ インド債券オープン(毎月決算型) 【愛称:インドの宝】

基準価額等の推移(期間:2012年6月18日(設定日)~2017年7月18日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

【分配金実績(1万口当たり、税引前)】

第57期 (2017年3月)	第58期 (2017年4月)	第59期 (2017年5月)	第60期 (2017年6月)	第61期 (2017年7月)	設定来合計
100円	100円	100円	100円	100円	4,260円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

■ 上記は過去の実績・状況、作成時点での見通しまたは分析です。これらは、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ インド債券オープン(毎月決算型) 【愛称:インドの宝】

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託から分配金が支払われるイメージ

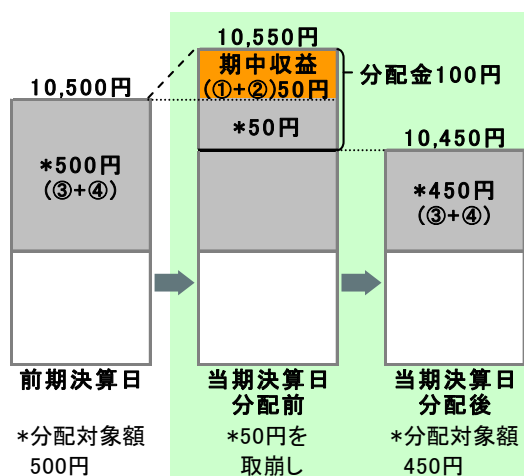


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

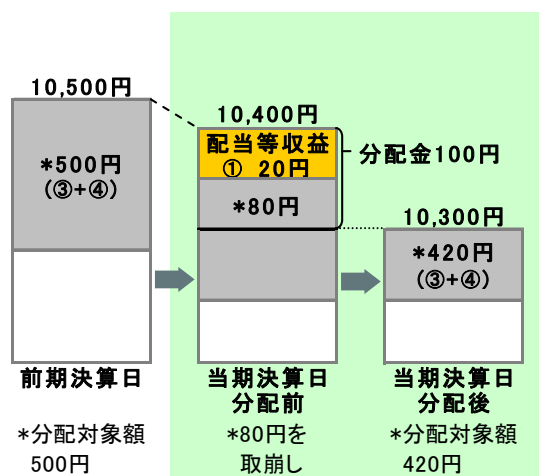
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



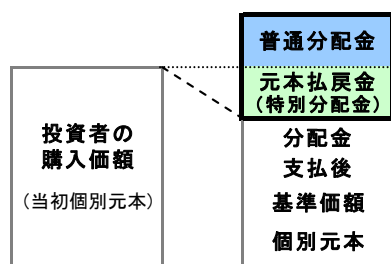
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

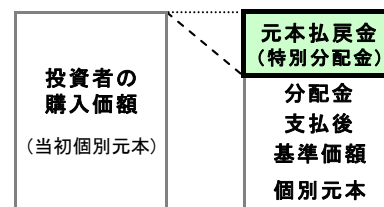
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

【金額を指定して購入する場合】

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

【口数を指定して購入する場合】

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、
購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×手数料率(税込)となり、
100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくことになります。

三菱UFJ インド債券オープン(毎月決算型)【愛称:インドの宝】

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

インドの債券を実質的な主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざします。

■ファンドの特色

投資対象 インドの債券が実質的な主要投資対象です。

- ・インドの債券とは、インドルピー建ての公社債のほか、インド関連の発行体が発行する米ドル建ての公社債等を含みます。
- ・主として円建外国投資信託への投資を通じて、インドの債券等に実質的な投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。
- ・ポートフォリオの流動性補完等を目的として、米国債および米ドル建て国際機関債等に投資を行うことがあります。
- ・米ドル建ての公社債等に投資した場合は、原則として、債券先物取引等を行うことにより米国金利変動による債券価格の変動リスクをヘッジします。

運用方法 投資対象とする円建外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。

- ・投資対象とする円建外国投資信託は、アムンディ・シンガポール・リミテッドが運用を行います。
- ・アムンディ・シンガポール・リミテッドはSBI ファンズ・マネジメンツ・プライベート・リミテッドからインドの債券等の運用に関する助言を受けます。

為替対応方針 実質的な組入外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。

- ・米ドル建ての公社債に投資を行う場合は、原則として米ドル売り、インドルピー買いの為替取引を行うことにより、実質的にインドルピー建ての公社債への投資と同様の投資効果をめざします。
- ・ファンドの基準価額は、主に対円でのインドルピーの値動きに影響を受けます。
- ・為替取引にあたっては、「NDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引」を利用する場合があります。NDF取引とは、将来の所定の期日に当該通貨の受け渡しを行うず、主に米ドルなど主要通貨で差金決済のみ可能な為替先渡し取引(デリバティブ取引)です。NDF取引では、市場の期待値(需給)や規制の影響を大きく受けて価格が形成されます。そのため、短期金利差より理論上期待される価格から、大きくカイ離する場合があります。

■ファンドの仕組み

- ・運用はファンド・オブ・ファンズ方式により行います。

<投資対象ファンド>

アムンディ・インディア・ボンド・ファンド-I2Jクラス
マネー・マーケット・マザーファンド

■分配方針

- ・毎月18日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、安定分配を行うことをめざします。
- ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
- ・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの**運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。**

したがって、**投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
為替変動 リスク	組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。
信用 リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。
カントリー・ リスク	新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、価格変動・為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ インド債券オープン(毎月決算型) 【愛称:インドの宝】

投資リスク

■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・インドの債券市場において外国機関投資家がインドルピー建ての公社債に投資を行う場合、投資ライセンス等を取得する必要があるほか、不定期に行われる入札等により投資枠を取得する必要があります。そのため、投資枠の取得状況や利用状況によってはインドルピー建ての公社債への投資割合が低くなるのが想定されます。
- ・インドルピー建ての公社債への投資においては、インカム・ゲインやキャピタル・ゲインに対して課税される場合があります。
- ・今後上記の投資規制ならびに税制は変更される場合があります。

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・インドの金融商品取引所の休業日、シンガポールの銀行の休業日およびその前営業日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付 の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、投資対象とする外国投資信託における全部または一部の購入および換金の制限、その他やむを得ない事情(投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	2022年6月20日まで(2012年6月18日設定)
繰上償還	受益権の口数が30億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。 なお、投資対象とする外国投資信託が償還する場合には繰上償還となります。
決算日	毎月18日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ インド債券オープン(毎月決算型) 【愛称:インドの宝】

手続・手数料等

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限3.24%(税抜 3%)**(販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

当該ファンド 日々の純資産総額に対して、**年率1.188%(税抜 年率1.1%)**をかけた額

運用管理費用(信託報酬) 投資対象とする投資信託証券 投資対象ファンドの純資産総額に対して**年率0.42%以内**
(マネー・マーケット・マザーファンドは除きます。)

実質的な負担 当該ファンドの純資産総額に対して**年率1.608%程度(税抜 年率1.52%程度)**
※投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。

その他の費用・手数料 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・投資対象とする投資信託証券における諸費用・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。

※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。

なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

<ホームページアドレス> <http://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ インド債券オープン(毎月決算型) 【愛称:インドの宝】

販売会社情報一覧表

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○